

一般公開講座

仏教とその源流

仏教の来た二つの道と 曼荼羅

弘法大師空海は密教の教えとともに「曼荼羅」を日本に伝えました。真言宗のお寺では、曼荼羅はいつも二つで一組になっていることにお気づきでしょう。本尊に向かって左が「金剛曼荼羅」、右にあるのが「胎蔵曼荼羅」、二つを合わせて「両界曼荼羅」と言います。

この二つの曼荼羅は、少し違った世界観を表していますが、その起源は二つのお経にあり、さらには仏教伝来の二つの道に関わっています。お経の教えや仏教美術と共に、仏教が来た二つの道を辿ります。



京都大学
文学研究科准教授
天野恭子



日時

2025.11/24(月・祝) 13:00～14:00

講演後、本堂にて護摩祈祷にご参加いただけます。

参加費

事前申し込み不要／聴講無料

会場

川崎大師京都別院 笠原寺

〒607-8172 京都市山科区大宅岩屋殿2番地

[TEL] 075-572-9400 [URL] <https://ryugennji.com/>



公式サイト



X (旧Twitter)



Instagram



■京都橋大学バス停より徒歩5分 ■大宅バス停より徒歩10分
■京都市営地下鉄東西線 柳辻駅よりタクシー5分・徒歩20分

講演についての問い合わせ：ryugennji-kyoto@sky.plala.or.jp(笠原寺)

[主 催] 笠原寺仏教講演会実行委員会

[共 催] 天野恭子(京都大学大学院文学研究科・准教授)